

## 高品質プレミックスモルタル

# プレモル

125  
13

# 早強

### 特徴

- ・普通セメントモルタルと比較した場合、1日で約3日強度が発現し、型枠の早期脱型や早期使用が可能です。
- ・水を加えて練るだけで、簡単にご使用いただけます。
- ・面倒な現場での配合が不要です。
- ・プレミックスですので安定した品質が得られます。
- ・包装は廃プラスチック類として廃棄でき、分別不要です。
- ・紙袋と比較して、防湿性に優れており保管安定性が高くなっています。

### 主な用途

- ・コンクリート・モルタル構造物の補修
- ・床・壁面の下地調整
- ・ブロック・レンガ積み
- ・型枠の早期脱型が求められる現場など

### 荷姿・仕様

- ・内容量：20kg
- ・包装：ポリエチレン袋
- ・水量：2.8～3.2L/袋
- ・練上り容積：10.7L/袋 (94袋/m<sup>3</sup>)

### 仕様と加水量の目安

プレモル125早強		プレモル13早強	
早強セメント1	砂2.5	早強セメント1	砂3
1袋	清水	1袋	清水
20kg	3.0L	20kg	2.8L

### 物性

項目	曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )			
	1日	3日	7日	28日
プレモル125早強	4N/mm <sup>2</sup>	8N/mm <sup>2</sup>	9N/mm <sup>2</sup>	10N/mm <sup>2</sup>
プレモル13早強	4N/mm <sup>2</sup>	6N/mm <sup>2</sup>	7N/mm <sup>2</sup>	10N/mm <sup>2</sup>

項目	圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )			
	1日	3日	7日	28日
プレモル125早強	23N/mm <sup>2</sup>	36N/mm <sup>2</sup>	36N/mm <sup>2</sup>	50N/mm <sup>2</sup>
プレモル13早強	18N/mm <sup>2</sup>	31N/mm <sup>2</sup>	33N/mm <sup>2</sup>	43N/mm <sup>2</sup>

※上記データは参考値です。品質保証値ではありません。

## 施工手順

### ＜下地処理＞

- ① プレモルの接着を阻害するコンクリート表面のレイタス、油分、汚れ等を除去してください。
- ② 下地面に水湿しもしくはプライマー処理（プライマーの使用に従う）を行ってください。

### ＜高速ハンドミキサーでの攪拌＞

- ① ペール缶等の容器に規定量の2／3程度の水を入れてください。  
残りのプレモル投入し、施工に応じた軟らかさになるように水で調整し攪拌してください。

### ＜モルタルミキサーでの攪拌＞

- ① モルタルミキサーにプレモルを投入してください。
- ② 施工可能軟度になるまで徐々に水を加えてください。
- ③ プレモルが水となじむまで十分にモルタルミキサーを回してください。

### ＜塗りつけ＞

- ① 攪拌したプレモルは鎌圧を加えながらしごき塗りを行い、追っかけで所定の厚みまで塗り付けて仕上げて下さい。
- ② 一回に塗り付ける事の出来る塗り厚は壁面で10mm以下、床面で30mm以上です。

### ＜養生＞

- ① 乾燥、凍結を避け、塗り付け後一週間養生してください。

## 使用上のご注意

- 本製品はセメントを基材とした「業務用」プレミックスモルタルです。取り扱いはセメントと同様に行って下さい。
- 雨・露のかからない乾燥した場所に保管して下さい。
- 気温5℃以下の施工は行わないで下さい。
- 激しい通風・日射による急速乾燥を避け、必要に応じてシート養生・散水養生を行って下さい。
- 施工中および硬化するまでは雨、雪などを避けてください。
- 混練りした材料は1時間以内に使い切って下さい。
- 練り足し、加水による練り戻しは行わないで下さい。
- 保護メガネ、防塵マスク、ゴム手袋を着用の上、取り扱って下さい。
- 本製品は製造年月日を確認し、5ヶ月以内を目安に使用して下さい。